



今月の主な目次

- 牧草サイレージ調製とアクレモ
- スノーグローエース種子粉衣タイプで安定した初期生育を
- 小麦後作緑肥の効果と最適作物の選定
- 釧路編・優秀農家紹介
- 当社人工乳の紹介
- 新商品 サイレージ二次発酵抑制資材「サイロ見張番」発売のご案内

時の話題

地域振興と環境整備について

昨年四月から、普及事業活動が今までの技術指導から、地域振興に力点を置いたものに変わりました。

近年、農業をとりまく状況は、消費者ニーズの変化や農業後継者の不足等多くの課題が山積しています。地域振興は地域の活性化でもあります。今回は地域活性化と農村環境整備の二点について考えてみます。

I 地域の活性化を図るためには、幾つかの課題があります。

- 一 地域活動推進に何が必要か
- 地域住民と係わる関係機関の意識の合意
- 地域課題の発掘と整理、改善計画
- 住民参加者と支援機関との役割分担
- 問題意識を持つ指導力の強いリーダー
- 取り組み・解決に時間が掛かる
- キーワードは時間・問題発見・企画力・リーダー・戦略です。

II 環境整備について

消費者が描く酪農のイメージは、乳牛が草地に放牧された風景、綺麗に整理された牛舎・住宅周辺・屋敷林です。

しかし、まだ多くの酪農家では宅地面積が広く、規模拡大の為、整備する時間がないと言えます。しかし、今日、製造者責任が求められています。また、消費者がいつでも農場に訪ねてくる時代です。

その為には

一 家族でプランづくりをする
家族で環境整備の必要性を話し合い、作業の役割分担の合意が大切です。

二 農村らしい景観づくりをする
街の景観を持ち込まない事です。農村でしか出来ない、広さや、山、川、広大な草地などの借景をどう活かすかも大きなポイントです。

三 年次計画をたて、家族で楽しみながら修正を加え、整備していく事です。

(南根室地区農業改良普及センター 榎本 博司)